



## 2020年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エクセディ  
 コード番号 7278 URL <http://www.exedy.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久川 秀仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 豊原 浩 TEL 072-822-1152  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：未定（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	263,899	△6.6	16,751	△14.6	14,964	△21.4	10,822	△18.8	9,492	△26.8	4,595	△66.4
2019年3月期	282,398	△0.3	19,626	△17.6	19,039	△15.4	13,334	△19.3	12,967	△17.9	13,688	△15.2

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	198.34	-	4.8	4.9	6.3
2019年3月期	269.52	-	6.6	6.1	6.9

(参考) 持分法による投資損益 2020年3月期 20百万円 2019年3月期 26百万円

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	301,019	208,709	196,938	65.4	4,200.17
2019年3月期	311,975	212,026	200,153	64.2	4,157.72

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	36,103	△26,515	△8,638	45,416
2019年3月期	31,760	△27,763	△3,260	45,413

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社 所有者帰属 持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	-	45.00	-	45.00	90.00	4,336	33.4	2.2
2020年3月期	-	45.00	-	45.00	90.00	4,280	45.4	2.1

2021年3月期の1株当たり配当金については未定です。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界的に外出や移動が制限される中、企業活動が停滞する状況が続いています。現時点では収束時期の見通しは立っておらず、業績予想の合理的な算定は困難であることから、2021年3月期の業績予想を未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細については、[添付資料] P.11「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	48,593,736株	2019年3月期	48,593,736株
② 期末自己株式数	2020年3月期	1,705,655株	2019年3月期	453,621株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	47,859,341株	2019年3月期	48,113,914株

(注) 「株式付与ESOP信託口」が保有する当社株式（2020年3月期26,700株、2019年3月期37,000株）を期末自己株式数に含めております。

また、「株式付与ESOP信託口」及び「役員報酬BIP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2020年3月期30,754株、2019年3月期67,843株）

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及びご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結財政状態計算書 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結持分変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におきましては、上半期においては中国市場が減速し、下半期においては新型コロナウイルスの世界的な流行により企業活動が停滞したため、各市場で受注が減少し売上収益は減少いたしました。利益面におきましてはコスト削減に努めましたが、売上収益の減少に加え、米国及びインド市場での製品の受注低迷が今後短期間では回復しないと見込まれることから、米国及びインドの子会社の生産設備について減損損失を計上した結果、減益となりました。当連結会計年度の業績は、売上収益 2,639億円（前年同期比 6.6%減）、営業利益 168億円（前年同期比 14.6%減）、税引前利益 150億円（前年同期比 21.4%減）、親会社の所有者に帰属する当期利益 95億円（前年同期比 26.8%減）となりました。

#### (セグメント情報)

報告セグメントの種類別の概況は下記のとおりであります。

#### 〔MT（手動変速装置関連事業）〕

売上収益は 626億円（前年同期比 8.5%減）となりました。セグメント利益は売上収益の減少及びインド子会社での減損損失計上により、82億円（前年同期比 12.1%減）となりました。

#### 〔AT（自動変速装置関連事業）〕

売上収益は 1,725億円（前年同期比 4.8%減）となりました。セグメント利益は売上収益の減少はあるものの、米国子会社での減損損失計上額が減少したことなどにより 91億円（前年同期比 5.2%増）となりました。

#### 〔その他〕

売上収益は 288億円（前年同期比 12.3%減）となりました。セグメント利益は売上収益の減少及びインド子会社での減損損失計上により 9億円（前年同期比 67.2%減）となりました。

所在地別の概況は下記のとおりであります。

#### 〔日本〕

売上収益は 1,249億円（前年同期比 4.3%減）となりました。営業利益は売上収益の減少により、93億円（前年同期比 21.5%減）となりました。

#### 〔北中米〕

売上収益は 451億円（前年同期比 12.9%減）となりました。営業利益は売上収益の減少はあるものの、上述の米国子会社での減損損失計上額の減少により 3億円（前年同期は15億円の営業損失）となりました。

#### 〔アジア・オセアニア〕

売上収益は 869億円（前年同期比5.3%減）となりました。営業利益は売上収益の減少及び上述のインド子会社での減損損失計上により 69億円（前年同期比 24.6%減）となりました。

#### 〔その他〕

売上収益は 71億円（前年同期比 15.2%減）、営業利益は売上収益の減少により 2億円（前年同期比 44.4%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産につきましては、資産合計は 3,010億円となり、前連結会計年度末に比べ 110億円減少いたしました。

主な内容は営業債権及びその他の債権の減少 62億円、有形固定資産の減少 28億円であります。

負債合計につきましては 923億円となり、前連結会計年度末に比べ 76億円減少いたしました。

主な内容は営業債務及びその他の債務の減少 58億円であります。

資本合計につきましては 2,087億円となり、前連結会計年度末に比べ 33億円減少いたしました。

主な内容は、自己株式の増加による減少 27億円、その他の資本の構成要素の減少 56億円、利益剰余金の増加 51億円であります。なお、親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末の 64.2%から 65.4%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ0億円増加し、当連結会計年度末には454億円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローで獲得した資金は、361億円（前年同期比 13.7%増）となりました。

主な内訳は、税引前利益 150億円、減価償却費及び償却費 185億円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローで使用した資金は、265億円（前年同期比 4.5%減）となりました。

主な内訳は、有形固定資産の取得による支出 257億円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローで使用した資金は、86億円（前年同期比 164.9%増）となりました。

主な内訳は、配当金の支払額 43億円、自己株式の取得による支出 28億円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期
親会社所有者帰属持分比率 (%)	64.2	65.4
時価ベースの 親会社所有者帰属持分比率 (%)	37.0	24.9
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	1.4	1.2
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	31.7	35.5

親会社所有者帰属持分比率：親会社の所有者に帰属する持分／資産合計

時価ベースの親会社所有者帰属持分比率：株式時価総額／資産合計

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) 有利子負債は連結財政状態計算書に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注4) 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を利用しております。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界的に外出や移動が制限される中、企業活動が停滞する状況が続いています。現時点では収束時期の見通しは立っておらず、業績予想の合理的な算定は困難であることから、2021年3月期の業績予想を未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的に I F R S を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	45,413	45,416
営業債権及びその他の債権	49,246	43,025
その他の金融資産	1,465	1,846
棚卸資産	33,611	33,499
その他の流動資産	2,817	2,344
流動資産合計	132,552	126,130
非流動資産		
有形固定資産	167,572	164,771
のれん及び無形資産	3,640	3,197
持分法で会計処理されている投資	153	151
資本性金融商品に対する投資	2,944	1,508
その他の金融資産	138	126
繰延税金資産	2,688	3,067
退職給付に係る資産	1,063	991
その他の非流動資産	1,225	1,077
非流動資産合計	179,422	174,889
資産合計	311,975	301,019

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	7,745	7,538
営業債務及びその他の債務	37,722	31,936
その他の金融負債	124	482
未払法人所得税	1,965	1,625
短期従業員給付	1,448	1,588
引当金	2,840	2,314
その他の流動負債	1,632	1,948
流動負債合計	53,476	47,430
非流動負債		
社債及び借入金	38,124	36,509
その他の金融負債	182	736
退職給付に係る負債	6,081	6,376
繰延税金負債	1,368	159
その他の非流動負債	718	1,101
非流動負債合計	46,473	44,881
負債合計	99,949	92,311
資本		
資本金	8,284	8,284
資本剰余金	7,590	7,582
自己株式	△1,144	△3,859
その他の資本の構成要素	△783	△6,389
利益剰余金	186,206	191,319
親会社の所有者に帰属する持分合計	200,153	196,938
非支配持分	11,873	11,771
資本合計	212,026	208,709
負債及び資本合計	311,975	301,019

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	百万円	百万円
売上収益	282,398	263,899
売上原価	229,799	214,115
売上総利益	52,598	49,785
販売費及び一般管理費	31,395	30,432
その他の収益	1,602	1,144
その他の費用	3,179	3,745
営業利益	19,626	16,751
金融収益	407	355
金融費用	1,020	2,163
持分法による投資利益	26	20
税引前利益	19,039	14,964
法人所得税費用	5,704	4,143
当期利益	13,334	10,822
当期利益の帰属		
親会社の所有者	12,967	9,492
非支配持分	367	1,329
当期利益	13,334	10,822
1 株当たり当期利益		
基本的小よび希薄化後 (円)	269.52	198.34

(連結包括利益計算書)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	百万円	百万円
当期利益	13,334	10,822
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 資本性金融商品	△459	△1,154
確定給付制度の再測定	△6	△32
純損益に振り替えられることのない項目合計	△465	△1,185
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	819	△5,043
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	△0	2
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	819	△5,042
その他の包括利益合計	354	△6,227
当期包括利益	13,688	4,595
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	13,113	3,854
非支配持分	575	741
当期包括利益	13,688	4,595

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素		
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品	確定給付制度の再測定	
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2018年4月1日時点の残高	8,284	7,656	△1,367	△2,256	1,330	-	△926
当期利益	-	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	610	△459	△6	146
当期包括利益合計	-	-	-	610	△459	△6	146
自己株式の取得	-	-	△1	-	-	-	-
自己株式の処分	-	-	224	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	-
株式に基づく報酬取引	-	△66	-	-	-	-	-
利益剰余金への振替	-	-	-	-	△8	6	△2
所有者との取引額合計	-	△66	223	-	△8	6	△2
当期増減額	-	△66	223	610	△467	-	143
2019年3月31日時点の残高	8,284	7,590	△1,144	△1,646	863	-	△783

	親会社の所有者に帰属する持分			
	利益剰余金	合計	非支配持分	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年4月1日時点の残高	177,808	191,455	12,177	203,631
当期利益	12,967	12,967	367	13,334
その他の包括利益	-	146	208	354
当期包括利益合計	12,967	13,113	575	13,688
自己株式の取得	-	△1	-	△1
自己株式の処分	-	224	-	224
剰余金の配当	△4,572	△4,572	△879	△5,451
株式に基づく報酬取引	-	△66	-	△66
利益剰余金への振替	2	-	-	-
所有者との取引額合計	△4,570	△4,415	△879	△5,294
当期増減額	8,397	8,698	△304	8,394
2019年3月31日時点の残高	186,206	200,153	11,873	212,026

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素		合計
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品	確定給付制度の再測定	
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2019年4月1日時点の残高	8,284	7,590	△1,144	△1,646	863	-	△783
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	-	-	-	-	-
会計方針の変更を反映した2019年4月1日時点の残高	8,284	7,590	△1,144	△1,646	863	-	△783
当期利益	-	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	△4,453	△1,154	△32	△5,638
当期包括利益合計	-	-	-	△4,453	△1,154	△32	△5,638
自己株式の取得	-	△2	△2,765	-	-	-	-
自己株式の処分	-	△5	50	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	-
株式に基づく報酬取引	-	-	-	-	-	-	-
利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	32	32
所有者との取引額合計	-	△7	△2,715	-	-	32	32
当期増減額	-	△7	△2,715	△4,453	△1,154	-	△5,606
2020年3月31日時点の残高	8,284	7,582	△3,859	△6,099	△290	-	△6,389

	親会社の所有者に帰属する持分			
	利益剰余金	合計	非支配持分	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年4月1日時点の残高	186,206	200,153	11,873	212,026
会計方針の変更による累積的影響額	△14	△14	-	△14
会計方針の変更を反映した2019年4月1日時点の残高	186,192	200,139	11,873	212,012
当期利益	9,492	9,492	1,329	10,822
その他の包括利益	-	△5,638	△589	△6,227
当期包括利益合計	9,492	3,854	741	4,595
自己株式の取得	-	△2,767	-	△2,767
自己株式の処分	-	44	-	44
剰余金の配当	△4,333	△4,333	△843	△5,176
株式に基づく報酬取引	-	-	-	-
利益剰余金への振替	△32	-	-	-
所有者との取引額合計	△4,365	△7,056	△843	△7,898
当期増減額	5,127	△3,201	△102	△3,303
2020年3月31日時点の残高	191,319	196,938	11,771	208,709



(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、当連結会計年度よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表)(以下、IFRS第16号)を適用しております。

当社グループでは、経過措置に従ってIFRS第16号を遡及適用し、適用開始による累積的影響を当連結会計年度の利益剰余金期首残高の修正として認識しております。

当基準の適用による連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(セグメント情報)

(1) 一般情報

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自動車用部品製造販売を主たる事業としております。更に、製品機能、技術仕様及び生産構造の違いにより「手動変速装置」「自動変速装置」の2つに大別し、本社を中心にグループ内部で連携をとりながら取扱製品について国内及び海外における戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、マニュアルクラッチを生産する「MT(自動車用手動変速装置関連事業)」、自動変速装置・同部品を生産する「AT(自動車用自動変速装置関連事業)」の2つを報告セグメントとしております。

(2) セグメントごとの売上収益、利益又は損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額 (注4)	連結
	MT	AT	計			
売上収益						
外部顧客への売上収益	68,481	181,116	249,597	32,801	-	282,398
セグメント間の内部売上収益(注2)	201	2,228	2,429	6,619	△9,048	-
計	68,682	183,344	252,026	39,419	△9,048	282,398
セグメント利益(注3)	9,282	8,650	17,931	2,776	△1,081	19,626
金融収益						407
金融費用						1,020
持分法による投資利益						26
税引前利益						19,039

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械用駆動伝導装置事業、2輪用クラッチ事業、運送業等を含んでおります。

(注2) セグメント間の内部取引における価額は、市場実勢価格に基づいております。

(注3) 報告セグメントの利益は、連結損益計算書上の営業利益を基礎とする数値であります。

(注4) 調整額には、セグメント間取引消去、及び全社費用が含まれております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額 (注4)	連結
	MT	AT	計			
売上収益						
外部顧客への売上収益	62,632	172,487	235,119	28,780	-	263,899
セグメント間の内部売上収益（注2）	127	1,814	1,941	6,462	△ 8,403	-
計	62,759	174,301	237,060	35,243	△ 8,403	263,899
セグメント利益（注3）	8,155	9,100	17,255	911	△ 1,414	16,751
金融収益						355
金融費用						2,163
持分法による投資利益						20
税引前利益						14,964

（注1）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械用駆動伝導装置事業、2輪用クラッチ事業、運送業等を含んでおります。

（注2）セグメント間の内部取引における価額は、市場実勢価格に基づいております。

（注3）報告セグメントの利益は、連結損益計算書上の営業利益を基礎とする数値であります。

（注4）調整額には、セグメント間取引消去、及び全社費用が含まれております。

（1株当たり情報）

基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

なお、前連結会計年度および当連結会計年度において、希薄化効果のある潜在的普通株式はありません。

（1）親会社の所有者に帰属する当期利益

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益	12,967	9,492

（2）普通株式の期中平均株式数

（単位：株）

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
普通株式の期中平均株式数	48,113,914	47,859,341

（重要な後発事象）

該当事項はありません。